良城小 URL：http//www.yamaguchi-ygc.ed.jp/ryojo-e/

良　城　小　学　校
学校だより春休み号
児 童 数 ８ ２ ４ 名
平成 30 年 3 月 23 日

ここからが大切な「吉敷だからこその学校教育」

校長　増　野　淳　一

ふるさと吉敷を愛し、あたたかい言葉で支え合いながら、進んで学び、人と学び、大切な心と体を自ら守る児童を家庭・地域とともに育成する。

新しい良城小学校の教育目標が決定しました。今回設定した目標は、子供達の現状・課題を明確に把握し、良城小の子供だからこそ必要な内容を示すことができたと考えています。

この目標の重要な点は大きく2点あります。

１点目は、最重要な目標を「ふるさと吉敷を愛する」としていることです。全ての子供が、将来にわたって地元地域に住み続けることは不可能だと思います。しかし、自分の地域に密着した吉敷だからこその学習を積み、地域の良さ、地域人々の温かさに十分に包まれながら育った子供は、吉敷で育った誇りと自信を心の奥底にもち続け、例え将来、都会に出たとしても、数々の困難を乗り越えていってくれると信じています。

２点目は、3つの徳・知・体の具体的姿を求め、「家庭・地域とともに育成する」としていることです。学校の教育目標は、これまでは文字通り学校の目標であり、主として教員の指導方針でした。しかし、本来は、学校教育は学校だけ、教員だけで行えるものではありません。学校で行われている教育と同じ方向性で、家庭でも、地域でも、子供達をともに育ててこそ、その効果は表れると思います。まさに社会総がかりで子供達を育むことが大切です。

もちろん、各家庭の子育ての「方針」があるのは当然です。それが個性となり、多様性の源となります。また、この3つの具体目標が今必要な教育の全てでもありません。

ですから、日常の生活の中で、ほんの少しでも意識していただく程度で構いません。時々は思い出していただき、学校の取組にご協力いただいたり、子供達に声かけをしたりしていただけると幸せます。地域の皆さんも同様に、これからの本校の取組を、この目標の文言を通して厳しく見つめていただきながら、子供と接する各場において、少しでも意識していただけたら幸せます。

目標決定に当たっては、保護者の皆さんからも多くのご意見をいただきました。

「何度も読み理解しました。学校側が、少しでも良くしようと取り組まれても、家庭で何もしなければ変わらないですよね。私も意識して子供と関わりたいと思います。」

「親として、学校⇔家庭の協力以外に地域の方々の協力が得られるというのは、とても安心で心強いことです。また、子供達も、先生や親以外の先生との関わりをもつことで、多くの事を学んでくれるのではないかと思います。良城小学校の取組が広がって、近い将来、素敵な地区になれば良いと思います。」

「子供達の成長を真ん中に、地域にもあたたかいつながりが生まれそうな気がしました。」

さあ、新しい目標が決まりました。保護者のご意見に「この４つの目標は素晴らしいと思いますが、どう実現していくかというのが難しいと考えました。」とありました。まさにその通りです。これからの、特に来年度の取組が非常に重要だと考えています。

２０日（火）に卒業式を終え、手前味噌ではありますが、良城小の子供達の素晴らしさに改めて感動しました。本年度の皆様のご協力に心から感謝いたします。本当にありがとうございました。次年度も引き続き、家庭・地域の皆様のご理解とご協力をどうかよろしくお願いいたします。